

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月25日 (第1回)
目標年度	令和13年度
市町村名 (市町村コード)	津市 (242012)
地域名 (地域内農業集落名)	楠原地区 (楠原)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	55.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	55.1 ha
② 田の面積	34.8 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	22.5 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	5.9 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	21.7 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	19.9 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

地区内で大規模に集積を行っている担い手は存在せず、個人農家が地域の農地を守っている状況である。また、耕作者の高齢化や機械の高騰により、今後耕作が継続できなくなる農地が発生することが予想されるため、地域農業をどのように維持していくかが課題となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

水稻の作付を中心に行っており、今後も同様の作付を進めていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
経営農地の集約化を目指し、農地所有者は農地を農地中間管理機構(農地バンク)を通じて引き受ける耕作者に貸し付けていく。引き受けた耕作者が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難となった場合には、農地バンクの機能を活用し、新たな受け手への付け替えを進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	17.2	%	将来の目標とする集積率
			17.2 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
耕作者同士の調整に基づき、農作業の効率化を図れるよう集約化していく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
耕作者が離農した際には引き受け可能な耕作者に集積を行っていく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
貸付け等の意向が確認された農地は、原則として農地中間管理機構を通じて貸し付けていく。
(3)基盤整備事業への取組
地域全体で農道や水路の維持管理を行う。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
認定農業者や新規就農者の確保に努め、市・県・JAと相談体制を確立し、農地の幹旋や技術的指導の支援を行っていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組
作業の効率化が期待できる作業は、委託の活用について検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

⑦地区内の農道、水路の整備を耕作者のみで行っているが、今後耕作者が減少することで維持が困難な状況となるため、地域全体で設備の維持管理を行っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和13年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	担い手A	水稲、麦、大豆	5.4 ha	ha	水稲、麦、大豆	5.4 ha	ha	A	
利用者	担い手B	水稲	1.9 ha	ha	水稲	1.9 ha	ha	B	
利用者	担い手C	水稲	1.7 ha	ha	水稲	1.7 ha	ha	C	
認農	担い手D	イチゴ	0.5 ha	ha	イチゴ	0.5 ha	ha	D	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	4経営体		9.5 ha	0 ha		9.5 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 目標地図(別添のとおり)